

海外銅は底堅い動き

中国向け動きあるも一時的か

非鉄原料

関東地区の非鉄金属リサイクル原料市場は、伸銅向け銅・黄銅系原料が弱含み推移。

海外LMEは依然として三〇〇〇〜三五〇〇ドルのレンジで推移しており、底堅い動きが続いている。NY現物も一五〇〜一六〇セントのレンジで推移。建値は三万円上げの三八万円スタートとなったが、円安が要因となっているため問屋筋でもこのまま上昇が続くとする見方は少ない。

中国向け雑品の荷動き

は旧正月明け以来、徐々に活発化している。しかし、同国の鉄スクラップ

の強い購入意欲も二カ月前も短時間で終わることもあるため、銅スクラップも考えられる。

国内では在庫調整進展

ライバルから学ぶ

青年部全国合宿大阪で開催

二月十一日に三回目となる非鉄全連青年部の合宿が大阪で行われ、全国から総勢四〇名が参加した。今回は「ライバルに学べ」をテーマに大阪の橋本アルミ、神戸ポーターリサイクル、橋本金属の順に見学大会が行われた。

橋本アルミでは創業の精神や沿革、そして経営理念「一人に社会に清く正しく美しく」についての説明やCSR(社会貢献事業)への参加について説明があった。

さらに〇四年から〇八年の景気拡大期に重なった橋本アルミの中期経営計画(〇七〜〇九年)についての説明の中で合理性に富んだ工業化(マニユファクチャリング)を取り入れた回転ずしのビ

ジネスモデルを参考にあげ、それを基に改革を行ってきたとの話があった。そして次期中期経営計画は工業化(マニユファクチャリング)しすぎ、一時落ち込んだファース

による製造業の生産量増加など、春先にむけて景気底打ちの目方が強まっており、品薄のなか積極的に買いを行う問屋筋も出てきた。在庫は未だ五

心した様子だった。橋本アルミ見学終了後、神戸ポーターリサイクルに移動。こちらは神戸市の環境政策エコテック21のモデル事業として設立され、民間一〇社の出資で運営され、次世代の自動車リサイクルの拠点でもある。また木屑・廃ラ・廃タイヤから鉄高炉の燃料コークスの代替品や、製紙会社の燃料のRPFもつくっている(その中から、マキノ商事が雑品系を中国へ輸出していることから、今回の神戸ポーターリサイクルの見学会が開催できた)。



神戸ポーターリサイクルで記念撮影

銅建値平均と黄銅ライ粉値推移 単位：キログラム(120日手形)

年月日(実施日)	電気銅建値	銅月平均	亜鉛建値	黄銅ライ上中下旬
2008.10.8	630	647.2	210	413
14	570	609.0	190	373
17	510	579.0	185	343
21	550	595.4	160	355
23	490	576.3	150	315
27	410	558.1	150	273
29	480	567.7	140	311
11.4	460	—	155	305
7	430	435.0	155	287
13	400	416.6	145	267
19	420	424.4	155	282
12.1	400	—	155	270
4	370	374.7	155	253
10	340	365.7	145	235
17	330	352.1	140	229
18	330	352.1	135	227
22	310	347.8	135	215
2009.1.5	340	—	155	240
19	350	345.2	155	246
23	330	338.9	150	233
2.2	330	—	140	233
5	350	346.8	140	243
10	370	360.5	150	255
16	360	355.2	150	249
23	350	352.6	140	239
3.2	380	—	150	259

鉛建値推移(単位：キログラム当り円)

年月日	建値	月平均
08.7.7	209	212.5
14	255	239.6
22	263	242.5
8.1	284	—
7	270	273.1
18	228	249.8
25	249	255.6
9.1	260	—
8	235	241.3
18	228	238.5
10.1	235	—
7	207	212.1
16	193	204.1
22	181	200.0
11.4	199	—
10	187	189.7
17	179	185.5
12.1	156	—
8	136	141.3
19	131	139.9
09.1.5	151	—
23	145	149.1
2.2	151	—
10	157	155.1
19	148	—
3.2	148	—